

歯内療法学

講 師	梶 屋 順 一	実施時期 単 位 数	第 2 学年前期 1 単位 (20 時間)	実務経験	○
一般目標 (GI0)	歯科衛生業務を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解する。				
授 業 概 要	歯の硬組織疾患から続発して起こる歯髄および根尖性歯周疾患を対象とし、その予防と治療を行うもので、各疾患の原因・分類を把握し、疾患と治療法を関連づけて理解させる。 そのために独自の図・表・動画を使用し、PCを用いた授業でそれらを明確に伝える事に重点をおく。 (100-120ページ程度のオリジナルプリントを配付) また重要項目については小テストで理解度を把握する。				
学 習 方 法	講義および実習(抜髄から根管充填までの総合的実習を通して、器具操作法や治療の流れを理解する)				
成績評価の方法	小テスト(60%=60点)、定期試験(40%=40点)				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」 医歯薬出版 DHS歯科衛生士部(監) DHS国試の麗人Year Book「直前まとめ編」				
履修上の注意	小テストが60%・定期試験が40%の配点なので、欠席に注意を要する。				
参 考 書	岩本次男 他(編)「歯科保存マニュアル」 南山堂 歯科衛生士国家試験ポイントチェック <3> 歯科衛生士概論 臨床歯科医学上 歯科衛生士国家試験対策検討会				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	歯内療法の概要	- 歯の硬組織疾患の種類と原因を説明できる。 - 歯髄・根尖性歯周組織疾患の分類と症状・検査法を説明できる。
2	歯髄保存療法・小テスト1回目(10点)	- 歯髄の保存療法(覆髄法)を説明できる。 - 特に覆髄法の中で暫間的間接覆髄法(IPC)や非侵襲暫間的間接覆髄法(AIPC)についても、その手法について説明できる。
3	歯髄の除去療法・小テスト2回目(10点)	- 歯髄の除去療法を説明できる。 - 麻酔抜髄時に使用する局所麻酔法についてその概要を説明できる。 - 仮封材の種類と基本的性質を説明できる。
4	根管治療・小テスト3回目(10点)	- 根尖性歯周組織疾患(感染根管)を説明できる。 - 根管治療に用いる器材の使用法を説明できる。
5	根管充填・小テスト4回目(10点)	- 根管充填に用いる薬剤・器材について説明できる。 - 根管充填法を説明できる。
6	外科的歯内療法・小テスト5回目(10点)	外科的歯内療法の種類・適応症および処置法を説明できる。
7	歯の外傷・小テスト6回目(10点)	外傷歯の治療法を説明できる。
8	歯内療法における安全対策	歯内療法における偶発事故とその防止策を説明できる。
9	歯内療法における歯科衛生士の役割	- 歯内療法に用いる薬剤や器具の準備ができる。 - 各種滅菌機器の操作、取り扱いができる。
10	まとめ・その他	- 歯の漂白法について適応症・種類・手順・術後指導の内容を説明できる。 - 防湿法に用いる器具や材料の名称と用途を説明できる。 - 抜髄から根管充填までの過程を実習を通して総合的に理解する。